

# 授業計画表

教科名	総合技術	対象学科	理容科1年
テキスト	理容美容教育センター 理容実習		
教育目標 ねらい	ワインディングの基礎から応用目のテクニックと知識を習得する。必修科目「実習」にて習得した基本技術を基に、さらに発展させた高度な技術を身につける。		
評価方法	1. 定期試験 2. 授業の出欠状況 3. 授業受講の熱心さ		
予定時間数	100h		

授業計画			
学期	月	項目	内容
1学期	4	ワインディング用カット ワインディング	ワインディング用ウィッグカット
	5	ワインディング	ワインディングの基礎技術
	6	ワインディング	ワインディング
	7	ワインディング	ワインディング
2学期	8	ワインディング	ワインディング
	9	ワインディング	サロン現場におけるワインディング技術
	10	ワインディング	サロン現場におけるワインディング技術
	11	ワインディング	サロン現場におけるワインディング技術
	12	ワインディング	サロン現場におけるワインディング技術
3学期	1	ワインディング	コンテストワインディング
	2	ワインディング	コンテストワインディング
	3	ワインディング	コンテストワインディング

# 授業計画表

教科名	総合技術	対象学科	理容科2年
テキスト	プリント		
教育目標 ねらい	必修科目「実習」にて習得した基本技術を基に、さらに発展させた高度な技術を身につける。 国家試験に向けての基礎学力、技術力を身につける。		
評価方法	1. 定期試験 2. 授業の出欠状況 3. 授業受講の熱心さ		
予定時間数	80h		

授業計画			
学期	月	項目	内容
1学期	4	クラシカル技術	プロセス確認 通し練習
	5	クラシカル技術	通し練習
	6	クラシカル技術	通し練習 タイムトライアル
	7	クラシカル技術	タイムトライアル
2学期	8	コンテスト練習	出場競技決定 要綱確認
	9	コンテスト練習	各競技に応じた練習
	10	コンテスト練習	各競技に応じた練習 本番での心構え
	11	国家試験対策	準備 プロセスの確認
	12	国家試験対策	カッティング技術
3学期	1	国家試験対策	シェービング技術
	2	国家試験対策	通し練習
	3	国家試験対策	通し練習

# 授業計画表

教科名	総合技術	対象学科	美容科1年
テキスト	理容美容教育センター 美容実習		
教育目標 ねらい	ワインディングの基礎から応用目のテクニックと知識を習得する。必修科目「実習」にて習得した基本技術を基に、さらに発展させた高度な技術を身につける。		
評価方法	1. 定期試験 2. 授業の出欠状況 3. 授業受講の熱心さ		
予定時間数	200h		

授業計画			
学期	月	項目	内容
1学期	4	ワインディング用カット ワインディング	ワインディング用ウィッグカット
	5	ワインディング	ワインディングの基礎技術
	6	ワインディング	ワインディング
	7	ワインディング	ワインディング
2学期	8	ワインディング	ワインディング
	9	ワインディング	サロン現場におけるワインディング技術
	10	ワインディング	サロン現場におけるワインディング技術
	11	ワインディング	サロン現場におけるワインディング技術
	12	ワインディング	サロン現場におけるワインディング技術
3学期	1	ワインディング	コンテストワインディング
	2	ワインディング	コンテストワインディング
	3	ワインディング	コンテストワインディング

# 授業計画表

教科名	総合技術	対象学科	美容科2年
テキスト	プリント		
教育目標 ねらい	必修科目「実習」にて習得した基本技術を基に、さらに発展させた高度な技術を身につける。 国家試験に向けての基礎学力、技術力を身につける。		
評価方法	1. 定期試験 2. 授業の出欠状況 3. 授業受講の熱心さ		
予定時間数	80h		

授業計画			
学期	月	項目	内容
1学期	4	ワインディング技術	プロセス確認 通し練習
	5	ワインディング技術	通し練習
	6	ワインディング技術	通し練習 タイムトライアル
	7	ワインディング技術	タイムトライアル
2学期	8	コンテスト練習	出場競技決定 要綱確認
	9	コンテスト練習	各競技に応じた練習
	10	コンテスト練習	各競技に応じた練習 本番での心構え
	11	国家試験対策	準備 プロセスの確認
	12	国家試験対策	カッティング技術
3学期	1	国家試験対策	ワインディング技術
	2	国家試験対策	通し練習
	3	国家試験対策	通し練習

# 授業計画表

教科名	モード	対象学科	理容科1年
テキスト	ヘアスタイル画		
教育目標 ねらい	理容師、美容師は髪型の決定から仕上げまでの全てをこなす特殊な職業であり、お客様に満足してもらえるヘアデザインについての創作的な技術を身につける。		
評価方法	1. 定期試験 2. 授業の出欠状況 3. 授業受講の熱心さ		
予定時間数	60h		

授業計画			
学期	月	項目	内容
1学期	4	用具の手入れ 顔のプロポーション	鉛筆の削り方 目幅 顔の各部
	5	顔の各部の描き方 基礎	目 鼻 口
	6	顔の描き方	正面 斜め 横 各メンズ レディース
	7	角度による変化	正面上向き 正面下向き 斜め上向き 斜め下向き 横上向き 横下向き レディース
2学期	8	角度による変化	正面上向き 正面下向き 斜め上向き 斜め下向き 横上向き 横下向き メンズ
	9	ヘアの描き方	毛先の表現 長さ ウェーブヘア 消しゴムで描く 強弱
	10	いろいろな描き方	いろいろなパターン 省略 写実 写実(消しゴム)
	11	顔の各部の描き方 応用	目 眉 鼻 口
	12	配置 ヘアスタイル イメージの変化	配置 ヘアスタイル イメージの変化
3学期	1	基礎プロポーション プロポーションの理 解	プロポーションの理解
	2	ファッションイラスト ファイリング	手 脚 襟 しわ 体の動き 靴 バッグ アクセサリー
	3	まとめ	まとめ

# 授業計画表

教科名	モード	対象学科	美容科1年
テキスト	ヘアスタイル画		
教育目標 ねらい	理容師、美容師は髪型の決定から仕上げまでの全てをこなす特殊な職業であり、お客様に満足してもらえるヘアデザインについての創作的な技術を身につける。		
評価方法	1. 定期試験 2. 授業の出欠状況 3. 授業受講の熱心さ		
予定時間数	60h		

授業計画			
学期	月	項目	内容
1学期	4	用具の手入れ 顔のプロポーション	鉛筆の削り方 目幅 顔の各部
	5	顔の各部の描き方 基礎	目 鼻 口
	6	顔の描き方	正面 斜め 横 各メンズ レディース
	7	角度による変化	正面上向き 正面下向き 斜め上向き 斜め下向き 横上向き 横下向き レディース
2学期	8	角度による変化	正面上向き 正面下向き 斜め上向き 斜め下向き 横上向き 横下向き メンズ
	9	ヘアの描き方	毛先の表現 長さ ウェーブヘア 消しゴムで描く 強弱
	10	いろいろな描き方	いろいろなパターン 省略 写実 写実(消しゴム)
	11	顔の各部の描き方 応用	目 眉 鼻 口
	12	配置 ヘアスタイル イメージの変化	配置 ヘアスタイル イメージの変化
3学期	1	基礎プロポーション プロポーションの理解	プロポーションの理解
	2	ファッションイラスト ファイリング	手 脚 襟 しわ 体の動き 靴 バッグ アクセサリー
	3	まとめ	まとめ

# 授業計画表

教科名	理容技術理論	対象学科	理容科1年
テキスト	理容美容教育センター 理容技術理論		
教育目標 ねらい	理容器具の種類や目的を理解し、その正しい取扱方法を身につける。理容技術を効率的に行うための基礎知識を習得する。		
評価方法	1. 定期試験 2. 授業の出欠状況 3. 授業受講の熱心さ		
予定時間数	70h		

授業計画			
学期	月	項目	内容
1学期	4	理容技術の基礎	人体各部名称 技術姿勢 トレーニング法
	5	理容用具	シザーズ レザー 日本かみそり クリッパー
	6	理容用具	コーム ブラシ ヘアアイロン ヘアドライヤー
	7	ヘアデザイン	スタイリングとデザイン デザイン要素 ヘアスタイル
2学期	8	ヘアカッティング	観測法 基本原則 一般的手順
	9	ヘアカッティング	スタンダードヘアの概要 カット技法
	10	ヘアカッティング	スタンダードヘアのカット技法
	11	ヘアカッティング	デザインヘアのスタイル別カットシステム デザインヘアカット レディースカット
	12	ヘアセッティング	種類 実際 レディーススタイリング
3学期	1	パーマネットセット	パーマネットウエービング アイアニング ワインディング 形状記憶デジタルパーマ
	2	ヘアカラーリング	歴史 効用 原理 取扱上の注意 プロセス 技法
	3	まとめ	まとめ

# 授業計画表

教科名	理容技術理論	対象学科	理容科2年
テキスト	理容美容教育センター 理容技術理論		
教育目標 ねらい	理容器具の種類や目的を理解し、その正しい取扱方法を身につける。理容技術を効率的に行うための基礎知識を習得する。		
評価方法	1. 定期試験 2. 授業の出欠状況 3. 授業受講の熱心さ		
予定時間数	70h		

授業計画			
学期	月	項目	内容
1学期	4	シェービング	要件 種類 基本技術と要領
	5	シェービング	プロセス メンズフェイスシェービング ネックシェービング
	6	シェービング	フェイスデザイン レディースシェービング
	7	理容エステティック	スキンケア フェイシャルケア ハンド&フットケア 理容アロマセラピー
2学期	8	理容クリニック	カウンセリング トリートメント ヘアケア スキヤルプケア
	9	理容クリニック	毛髪の基礎 ヘアチェック 頭皮の基礎 スキヤルプチェック 用具 ウイッグ
	10	シャンプーイング	シャンプーイング リンシング
	11	シャンプーイング	シャンプーイング リンシング
	12	理容マッサージ	意義と効果 マニピュレーション
3学期	1	ヘアトリートメント	種類 一例
	2	スキヤルプトリートメント	種類 一例
	3	まとめ	まとめ



# 授業計画表

教科名	理容実習	対象学科	理容科1年
テキスト	理容美容教育センター 理容実習		
教育目標 ねらい	理容の業務に必要な基本的技術を身につけるとともに、これらの技術を組み合わせた総合的な理容技術を身につける。		
評価方法	1. 定期試験 2. 授業の出欠状況 3. 授業受講の熱心さ		
予定時間数	400h		

授業計画			
学期	月	項目	内容
1学期	4	姿勢 用具の持ち方と操作	基本姿勢 姿勢の変化 スタンダードヘア、デザインカットの各操作
	5	デザインヘア	ブロッキング基本パターン (職業実践授業)
	6	デザインヘア	基礎技術デザインカット (職業実践授業)
	7	デザインヘア	ストロークカットレザーカット (職業実践授業)
2学期	8	スタンダードヘア	ミディアムヘア
	9	スタンダードヘア	ミディアムヘア
	10	スタンダードヘア	ブロー
	11	ヘアセッティング	基本セットドライヤーセット
	12	パーマメントウェー ビング	アップシステム
3学期	1	パーマメントウェー ビング	ダウンシステム
	2	パーマメントウェー ビング	ワインディング
	3	パーマメントウェー ビング	ワインディング

# 授業計画表

教科名	理容実習	対象学科	理容科2年
テキスト	理容美容教育センター 理容実習		
教育目標 ねらい	理容の業務に必要な基本的技術を身につけるとともに、これらの技術を組み合わせた総合的な理容技術を身につける。		
評価方法	1. 定期試験 2. 授業の出欠状況 3. 授業受講の熱心さ		
予定時間数	500h		

授業計画			
学期	月	項目	内容
1学期	4	アイアニング	持ち方と技法 手順
	5	ヘアカラーリング	塗布技術 さまざまなカラーリング技術
	6	ヘアクリニック	スカルプチェック ヘアトリートメント
	7	シャンプーイング	スタンドシャンプー リンシング
2学期	8	シャンプーイング	スタンドシャンプー リンシング
	9	シャンプーイング	バックシャンプー リンシング
	10	ヘッドマッサージ クリニックマッサージ	ヘッドマッサージ クリニックマッサージ
	11	シェービング	基本技術と要領
	12	シェービング	メンズフェイシャルシェービング ネックシェービング
3学期	1	シェービング	フェイシャルトリートメント
	2	シェービング	レディースシェービング
	3	まとめ	まとめ

# 授業計画表

教科名	美容実習	対象学科	美容科1年
テキスト	理容美容教育センター 美容実習		
教育目標 ねらい	美容の業務に必要な基本的技術を身につけるとともに、これらの技術を組み合わせた総合的な美容技術を身につける。		
評価方法	1. 定期試験 2. 授業の出欠状況 3. 授業受講の熱心さ		
予定時間数	400h		

授業計画			
学期	月	項目	内容
1学期	4	シャンプーイング	準備 シャンプーイング リンシング ドライイング
	5	シャンプーイング	準備 シャンプーイング リンシング ドライイング
	6	ヘアカットイング	ワンレングス グラデーション
	7	ヘアカットイング	レイヤー セイムレングス
2学期	8	パーマメントウエー ビング	ブロッキング ワインディング
	9	パーマメントウエー ビング	ワインディング
	10	ヘアカットイング	レザーカット まとめ
	11	パーマメントウエー ビング	バリエーション まとめ
	12	ヘアセットイング	ヘアカーリング ローラー ウエービング (職業実践授業)
3学期	1	ヘアセットイング	ブロー アイロンセットイング アップスタイル (職業実践授業)
	2	ヘアカラーリング	塗布技術 (職業実践授業)
	3	まとめ	まとめ

# 授業計画表

教科名	美容実習	対象学科	美容科2年
テキスト	理容美容教育センター 美容実習		
教育目標 ねらい	美容の業務に必要な基本的技術を身につけるとともに、これらの技術を組み合わせた総合的な美容技術を身につける。		
評価方法	1. 定期試験 2. 授業の出欠状況 3. 授業受講の熱心さ		
予定時間数	500h		

授業計画			
学期	月	項目	内容
1学期	4	カットイング	まとめ
	5	エステティック	フェイシャル
	6	エステティック	デコルテ
	7	エステティック	ボディ 脱毛
2学期	8	ネイル技術	ネイルケア ネイルアート
	9	ネイル技術	ネイルアート マッサージ
	10	メイクアップ	スキンケア ベースメイク
	11	メイクアップ	アイメイク アイブロウ リップ
	12	メイクアップ	コーディネート
3学期	1	着付	留袖 振袖
	2	着付	男性礼装 打掛 花嫁
	3	まとめ	まとめ

# 授業計画表

教科名	美容技術理論	対象学科	美容科1年
テキスト	理容美容教育センター 美容技術理論		
教育目標 ねらい	美容器具の種類や目的を理解し、取り扱い方法を身に付ける。 美容技術を効率的に行うための基礎知識を習得する。		
評価方法	1. 定期試験 2. 授業の出欠状況 3. 授業受講の熱心さ		
予定時間	70h		

授業計画			
学期	月	項目	内容
1学期	4	美容器具	美容の道具、器具の理解
	5	シャンプーング	シャンプー剤、手順の理解
	6	ヘアカットイング	カットイング技術、カット方法の理解
	7	パーマネットウェーブ	パーマがかかる仕組みについて
2学期	8	パーマネットウェーブ	パーマネットウェーブの手順
	9	ヘアセッティング	ヘアセッティングの定義
	10	ヘアセッティング	オールウェーブセッティングについて
	11	ヘアカラーリング	ヘアセッティングの理解
	12	ヘアカラーリング	ヘアカラーリングの仕組み
3学期	1	復習	総まとめ
	2	復習	総まとめ
	3	復習	総まとめ

# 授業計画表

教科名	美容技術理論	対象学科	美容科2年
テキスト	理容美容教育センター 美容技術理論		
教育目標 ねらい	美容器具の種類や目的を理解し、取り扱い方法を身に付ける。 美容技術を効率的に行うための基礎知識を習得する。		
評価方法	1. 定期試験 2. 授業の出欠状況 3. 授業受講の熱心さ		
予定時間数	70h		

授業計画			
学期	月	項目	内容
1学期	4	エステティック	概論 カウンセリング
	5	エステティック	フェイシャルケア技術
	6	エステティック	ボディケア技術
	7	ネイル技術	概論 爪の構造と機能 カウンセリング
2学期	8	ネイル技術	ネイル技術と公衆衛生 ネイルケア
	9	メイクアップ	概論 顔、色彩 皮膚の生理機能
	10	メイクアップ	メイクアップ道具 スキンケア
	11	メイクアップ	メイクアップ (ベース、アイ、アイブロウ、リップ、まつ毛エクステンション)
	12	日本髪	由来 名称 道具 結髪技術 かつら
3学期	1	着付の理論と技術	目的 礼装 各部名称 たたみ方
	2	着付の理論と技術	着付一般概要 留袖 振袖 男性礼装 花嫁
	3	まとめ	まとめ

# 授業計画表

教科名	社会保険	対象学科	理容科1年
テキスト	理容美容教育センター 社会福祉		
教育目標 ねらい	世界に類を見ない速度で高齢化が進む日本において、高齢の方々や障害を持つ人たちの生活上の困難を理解し、理容・美容を通じ「自分らしく生きる」手助けに貢献できる知識を習得する。		
評価方法	1. 定期試験 2. 授業の出欠状況 3. 授業受講の熱心さ		
予定時間数	30h		

授業計画			
学期	月	項目	内容
1学期	4	社会保障制度の概要	社会保障概要 目的と機能 内容と制度
	5	医療保障	医療保障概要 医療保険
	6	所得保障	所得保障概要 公的年金保健
	7	所得保障	労働保険 社会手当 公的扶助
2学期	8	介護・福祉サービス	介護・福祉サービス概要 児童福祉
	9	介護・福祉サービス	障害者福祉 家庭福祉 高齢者福祉
	10	高齢者と障害者の体と心	高齢者の身体的・心理的特性
	11	高齢者と障害者の体と心	障害者の身体的・心理的特性
	12	高齢者・障害者の介助	理容・美容における介助の考え方
3学期	1	高齢者・障害者の介助	高齢者に対する介助 障害者に対する介助
	2	理容師・美容師と社会貢献活動	社会貢献活動 施設・在宅での理容・美容
	3	まとめ	まとめ

# 授業計画表

教科名	社会保険	対象学科	美容科1年
テキスト	理容美容教育センター 社会福祉		
教育目標 ねらい	世界に類を見ない速度で高齢化が進む日本において、高齢の方々や障害を持つ人たちの生活上の困難を理解し、理容・美容を通じ「自分らしく生きる」手助けに貢献できる知識を習得する。		
評価方法	1. 定期試験 2. 授業の出欠状況 3. 授業受講の熱心さ		
予定時間数	30h		

授業計画			
学期	月	項目	内容
1学期	4	社会保障制度の概要	社会保障概要 目的と機能 内容と制度
	5	医療保障	医療保障概要 医療保険
	6	所得保障	所得保障概要 公的年金保健
	7	所得保障	労働保険 社会手当 公的扶助
2学期	8	介護・福祉サービス	介護・福祉サービス概要 児童福祉
	9	介護・福祉サービス	障害者福祉 家庭福祉 高齢者福祉
	10	高齢者と障害者の体と心	高齢者の身体的・心理的特性
	11	高齢者と障害者の体と心	障害者の身体的・心理的特性
	12	高齢者・障害者の介助	理容・美容における介助の考え方
3学期	1	高齢者・障害者の介助	高齢者に対する介助 障害者に対する介助
	2	理容師・美容師と社会貢献活動	社会貢献活動 施設・在宅での理容・美容
	3	まとめ	まとめ



# 授業計画表

教科名	関係法規・制度	対象学科	理容科1年
テキスト	理容美容教育センター 関係法規・制度		
教育目標 ねらい	理容の業務に関する衛生法規・制度及び消費者保護法規・制度についての知識を習得する。		
評価方法	1. 定期試験 2. 授業の出欠状況 3. 授業受講の熱心さ		
予定時間数	30h		

授業計画			
学期	月	項目	内容
1学期	4	法制度の概要	社会生活におけるほうの役割 法の実際
	5	法制度の概要	法の実際 衛生法規の概要
	6	衛生行政の概要	法と行政
	7	衛生行政の概要	衛生行政の意義と歴史
2学期	8	衛生行政の概要	衛生行政の種類と衛生行政機関
	9	理容師法	目的と構成 用語の定義
	10	理容師法	理容師
	11	理容師法	理容所 立入検査と環境衛生監視員
	12	理容師法	行政処分 罰則 参考事項
3学期	1	関連法規	関連する法規
	2	関連法規	関連する法規
	3	まとめ	まとめ

# 授業計画表

教科名	関係法規・制度	対象学科	美容科1年
テキスト	理容美容教育センター 関係法規・制度		
教育目標 ねらい	美容の業務に関する衛生法規・制度及び消費者保護法規・制度についての知識を習得する。		
評価方法	1. 定期試験 2. 授業の出欠状況 3. 授業受講の熱心さ		
予定時間数	30h		

授業計画			
学期	月	項目	内容
1学期	4	法制度の概要	社会生活におけるほうの役割 法の実際
	5	法制度の概要	法の実際 衛生法規の概要
	6	衛生行政の概要	法と行政
	7	衛生行政の概要	衛生行政の意義と歴史
2学期	8	衛生行政の概要	衛生行政の種類と衛生行政機関
	9	美容師法	目的と構成 用語の定義
	10	美容師法	美容師
	11	美容師法	美容所 立入検査と環境衛生監視員
	12	美容師法	行政処分 罰則 参考事項
3学期	1	関連法規	関連する法規
	2	関連法規	関連する法規
	3	まとめ	まとめ

# 授業計画表

教科名	運営管理	対象学科	理容科1年
テキスト	理容美容教育センター 運営管理		
教育目標 ねらい	就職という点に重点をおき、就職する上での心構えから、店の一員となって経営に参画することの意味や働く上での義務、権利を理解する。		
評価方法	1. 定期試験 2. 授業の出欠状況 3. 授業受講の熱心さ		
予定時間数	30h		

授業計画			
学期	月	項目	内容
1学期	4	接客	仕事をするということ
	5	接客	接客の役割と基本
	6	接客	接客の計画・実践
	7	接客	接客の計画・実践
2学期	8	経営戦略 マーケティング	経営戦略
	9	経営戦略 マーケティング	経営戦略
	10	経営戦略 マーケティング	マーケティング
	11	経営戦略 マーケティング	マーケティング
	12	経営戦略 マーケティング	マーケティング
3学期	1	経営管理	経営者の視点
	2	経営管理	経営者の視点 資金の管理
	3	経営管理	資金の管理

# 授業計画表

教科名	運営管理	対象学科	理容科2年
テキスト	理容美容教育センター 運営管理		
教育目標 ねらい	就職という点に重点をおき、就職する上での心構えから、店の一員となって経営に参画することの意味や働く上での義務、権利を理解する。		
評価方法	1. 定期試験 2. 授業の出欠状況 3. 授業受講の熱心さ		
予定時間数	30h		

授業計画			
学期	月	項目	内容
1学期	4	労務管理	労務管理とは何か
	5	労務管理	労務管理とは何か
	6	労務管理	労務管理とは何か
	7	労務管理	働くあなたの姿
2学期	8	労務管理	働くあなたの姿
	9	労務管理	働くあなたの姿
	10	健康管理	健康管理の意義
	11	健康管理	健康管理の意義
	12	健康管理	健康管理の意義
3学期	1	健康管理	理容師に多い健康上の問題
	2	健康管理	理容師に多い健康上の問題
	3	まとめ	まとめ

# 授業計画表

教科名	運営管理	対象学科	美容科1年
テキスト	理容美容教育センター 運営管理		
教育目標 ねらい	就職という点に重点をおき、就職する上での心構えから、店の一員となって経営に参画することの意味や働く上での義務、権利を理解する。		
評価方法	1. 定期試験 2. 授業の出欠状況 3. 授業受講の熱心さ		
予定時間数	30h		

授業計画			
学期	月	項目	内容
1学期	4	接客	仕事をするということ
	5	接客	接客の役割と基本
	6	接客	接客の計画・実践
	7	接客	接客の計画・実践
2学期	8	経営戦略 マーケティング	経営戦略
	9	経営戦略 マーケティング	経営戦略
	10	経営戦略 マーケティング	マーケティング
	11	経営戦略 マーケティング	マーケティング
	12	経営戦略 マーケティング	マーケティング
3学期	1	経営管理	経営者の視点
	2	経営管理	経営者の視点 資金の管理
	3	経営管理	資金の管理

# 授業計画表

教科名	運営管理	対象学科	美容科2年
テキスト	理容美容教育センター 運営管理		
教育目標 ねらい	就職という点に重点をおき、就職する上での心構えから、店の一員となって経営に参画することの意味や働く上での義務、権利を理解する。		
評価方法	1. 定期試験 2. 授業の出欠状況 3. 授業受講の熱心さ		
予定時間数	30h		

授業計画			
学期	月	項目	内容
1学期	4	労務管理	労務管理とは何か
	5	労務管理	労務管理とは何か
	6	労務管理	労務管理とは何か
	7	労務管理	働くあなたの姿
2学期	8	労務管理	働くあなたの姿
	9	労務管理	働くあなたの姿
	10	健康管理	健康管理の意義
	11	健康管理	健康管理の意義
	12	健康管理	健康管理の意義
3学期	1	健康管理	美容師に多い健康上の問題
	2	健康管理	美容師に多い健康上の問題
	3	まとめ	まとめ

# 授業計画表

教科名	衛生管理	対象学科	理容科1年
テキスト	理容美容教育センター 衛生管理		
教育目標 ねらい	公衆衛生全般についての知識、特に理容、美容業務に関連する感染症予防や環境衛生の保持についての知識を習得する。消毒の意義や、実際に使用する器具の消毒法についての知識を習得する。		
評価方法	1. 定期試験 2. 授業の出欠状況 3. 授業受講の熱心さ		
予定時間数	40h		

授業計画			
学期	月	項目	内容
1学期	4	公衆衛生の概要	公衆衛生の意義と課題 公衆衛生発展の歴史
	5	公衆衛生の概要	公衆衛生発展の歴史 理容師・美容師と公衆衛生 保健所と理容業・美容業
	6	予防医学と保健	予防医学 公衆衛生と統計
	7	予防医学と保健	保健 医療介護の制度
2学期	8	環境衛生	環境衛生の内容 空気・水・日光
	9	環境衛生	衣食住と健康
	10	環境衛生	衛生害虫とネズミ
	11	環境衛生	公害と環境保全
	12	理容所・美容所の環境衛生	理容所・美容所の衛生管理 衛生的取り扱い
3学期	1	感染症総論	ヒトと感染症
	2	感染症総論	病原微生物
	3	感染症総論	感染症の予防

# 授業計画表

教科名	衛生管理	対象学科	理容科2年
テキスト	理容美容教育センター 衛生管理		
教育目標 ねらい	公衆衛生全般についての知識、特に理容、美容業務に関連する感染症予防や環境衛生の保持についての知識を習得する。消毒の意義や、実際に使用する器具の消毒法についての知識を習得する。		
評価方法	1. 定期試験 2. 授業の出欠状況 3. 授業受講の熱心さ		
予定時間数	50h		

授業計画			
学期	月	項目	内容
1学期	4	感染症の各論	理容・美容と感染症
	5	感染症の各論	主な感染症
	6	感染症の各論	主な感染症
	7	消毒法総論	消毒とは 消毒の意義
2学期	8	消毒法総論	理容・美容の業務と消毒との関係 消毒法と適用上の注意
	9	消毒法各論	理学的消毒法
	10	消毒法各論	化学的消毒法
	11	消毒法各論	化学的消毒法 すぐれた消毒法とその実施上の注意
	12	消毒法実習	各種消毒薬
3学期	1	消毒法実習	理容所・美容所の消毒の実際
	2	消毒法実習	理容所・美容所の清潔法の実際
	3	まとめ	まとめ



# 授業計画表

教科名	衛生管理	対象学科	美容科1年
テキスト	理容美容教育センター 衛生管理		
教育目標 ねらい	公衆衛生全般についての知識、特に理容、美容業務に関連する感染症予防や環境衛生の保持についての知識を習得する。消毒の意義や、実際に使用する器具の消毒法についての知識を習得する。		
評価方法	1. 定期試験 2. 授業の出欠状況 3. 授業受講の熱心さ		
予定時間数	40h		

授業計画			
学期	月	項目	内容
1学期	4	公衆衛生の概要	公衆衛生の意義と課題 公衆衛生発展の歴史
	5	公衆衛生の概要	公衆衛生発展の歴史 理容師・美容師と公衆衛生 保健所と理容業・美容業
	6	予防医学と保健	予防医学 公衆衛生と統計
	7	予防医学と保健	保健 医療介護の制度
2学期	8	環境衛生	環境衛生の内容 空気・水・日光
	9	環境衛生	衣食住と健康
	10	環境衛生	衛生害虫とネズミ
	11	環境衛生	公害と環境保全
	12	理容所・美容所の環境衛生	理容所・美容所の衛生管理 衛生的取り扱い
3学期	1	感染症総論	ヒトと感染症
	2	感染症総論	病原微生物
	3	感染症総論	感染症の予防

# 授業計画表

教科名	衛生管理	対象学科	美容科2年
テキスト	理容美容教育センター 衛生管理		
教育目標 ねらい	公衆衛生全般についての知識、特に理容、美容業務に関連する感染症予防や環境衛生の保持についての知識を習得する。消毒の意義や、実際に使用する器具の消毒法についての知識を習得する。		
評価方法	1. 定期試験 2. 授業の出欠状況 3. 授業受講の熱心さ		
予定時間数	50h		

授業計画			
学期	月	項目	内容
1学期	4	感染症の各論	理容・美容と感染症
	5	感染症の各論	主な感染症
	6	感染症の各論	主な感染症
	7	消毒法総論	消毒とは 消毒の意義
2学期	8	消毒法総論	理容・美容の業務と消毒との関係 消毒法と適用上の注意
	9	消毒法各論	理学的消毒法
	10	消毒法各論	化学的消毒法
	11	消毒法各論	化学的消毒法 すぐれた消毒法とその実施上の注意
	12	消毒法実習	各種消毒薬
3学期	1	消毒法実習	理容所・美容所の消毒の実際
	2	消毒法実習	理容所・美容所の清潔法の実際
	3	まとめ	まとめ

# 授業計画表

教科名	化粧品化学	対象学科	理容科1年
テキスト	日本理容美容教育センター 化粧品化学		
教育目標 ねらい	理容器具・美容器具、化粧品を適正に取り扱うために必要な物理、化学についての知識を習得する		
評価方法	1. 定期試験 2. 授業の出欠状況 3. 授業受講の熱心さ		
予定時間数	30h		

授業計画			
学期	月	項目	内容
1学期	4	力を利用した器具・技術	理容・美容の器具と力の関係
	5	力を利用した器具・技術	力の基本原理 力を利用した器具
	6	熱を利用した器具・技術	理容・美容の器具と熱の関係
	7	熱を利用した器具・技術	熱の基本原理 熱を利用した器具
2学期	8	電気を利用した器具・技術	理容・美容の器具と電気の関係
	9	電気を利用した器具・技術	電気の基本原理 電気を利用した器具
	10	化粧品概論	化粧品の社会的意義と品質特性
	11	化粧品概論	化粧品の規制
	12	化粧品用原料	水性原料 油性原料
3学期	1	化粧品用原料	界面活性剤 高分子化合物
	2	化粧品用原料	色材 香料 その他の配合成分
	3	まとめ	まとめ

# 授業計画表

教科名	物理化学	対象学科	理容科2年
テキスト	理容美容教育センター 物理化学		
教育目標 ねらい	理容器具・美容器具、香粧品を適正に取り扱うために必要な物理、化学についての知識を習得する		
評価方法	1. 定期試験 2. 授業の出欠状況 3. 授業受講の熱心さ		
予定時間数	50h		

授業計画			
学期	月	項目	内容
1学期	4	基礎化粧品	皮膚洗浄用香粧品 化粧水
	5	基礎化粧品	クリーム・乳液 その他の基礎香粧品
	6	メイクアップ用香粧品	種類と剤形 メイクアップ香粧品 ポイントメイク
	7	頭皮・毛髪用香粧品	頭皮や毛髪の性状 シャンプー剤
2学期	8	頭皮・毛髪用香粧品	スタイリング剤 パーマ剤
	9	頭皮・毛髪用香粧品	ヘアカラー 育毛剤
	10	芳香性品と特殊香粧品	芳香製品 特殊香粧品
	11	香粧品の取り扱い	香粧品の安定性と取り扱い上の注意 香粧品の安全性
	12	化学	物質の構造 溶液とコロイド
3学期	1	化学	酸と塩基と塩 酸化・還元反応 有機化合物
	2	国家試験対策	国家試験対策
	3	まとめ	まとめ

# 授業計画表

教科名	物理化学	対象学科	美容科1年
テキスト	日本理容美容教育センター 物理化学		
教育目標 ねらい	理容器具・美容器具、香粧品を適正に取り扱うために必要な物理、化学についての知識を習得する		
評価方法	1. 定期試験 2. 授業の出欠状況 3. 授業受講の熱心さ		
予定時間数	30h		

授業計画			
学期	月	項目	内容
1学期	4	力を利用した器具・技術	理容・美容の器具と力の関係
	5	力を利用した器具・技術	力の基本原理 力を利用した器具
	6	熱を利用した器具・技術	理容・美容の器具と熱の関係
	7	熱を利用した器具・技術	熱の基本原理 熱を利用した器具
2学期	8	電気を利用した器具・技術	理容・美容の器具と電気の関係
	9	電気を利用した器具・技術	電気の基本原理 電気を利用した器具
	10	香粧品概論	香粧品の社会的意義と品質特性
	11	香粧品概論	香粧品の規制
	12	香粧品用原料	水性原料 油性原料
3学期	1	香粧品用原料	界面活性剤 高分子化合物
	2	香粧品用原料	色材 香料 その他の配合成分
	3	まとめ	まとめ

# 授業計画表

教科名	物理化学	対象学科	美容科2年
テキスト	理容美容教育センター 物理化学		
教育目標 ねらい	理容器具・美容器具、香粧品を適正に取り扱うために必要な物理、化学についての知識を習得する		
評価方法	1. 定期試験 2. 授業の出欠状況 3. 授業受講の熱心さ		
予定時間数	50h		

授業計画			
学期	月	項目	内容
1学期	4	基礎化粧品	皮膚洗浄用香粧品 化粧水
	5	基礎化粧品	クリーム・乳液 その他の基礎香粧品
	6	メイクアップ用香粧品	種類と剤形 メイクアップ香粧品 ポイントメイク
	7	頭皮・毛髪用香粧品	頭皮や毛髪の性状 シャンプー剤
2学期	8	頭皮・毛髪用香粧品	スタイリング剤 パーマ剤
	9	頭皮・毛髪用香粧品	ヘアカラー 育毛剤
	10	芳香性品と特殊香粧品	芳香製品 特殊香粧品
	11	香粧品の取り扱い	香粧品の安定性と取り扱い上の注意 香粧品の安全性
	12	化学	物質の構造 溶液とコロイド
3学期	1	化学	酸と塩基と塩 酸化・還元反応 有機化合物
	2	国家試験対策	国家試験対策
	3	まとめ	まとめ

# 授業計画表

教科名	理容保健	対象学科	理容科1年
テキスト	理容美容教育センター 理容美容保健		
教育目標 ねらい	理容師・美容師は頭や顔を中心とする人間の美と健康にたずさわる保健衛生分野の職業であり、解剖学や生理学に関する知識を備える		
評価方法	1. 定期試験 2. 授業の出欠状況 3. 授業受講の熱心さ		
予定時間数	60h		

授業計画			
学期	月	項目	内容
1学期	4	理容美容保健と理容師美容師細胞と体液	人体各部の名称 頭部、顔部、頸部の体表解剖学 細胞から系統 体液のあらまし 血液のあらまし
	5	骨格器系	骨の種類と構造 骨の連結 骨格器系とその働き 骨の保健
	6	筋系	筋の種類とその特徴 主な骨格筋とその働き 顔面筋と表情運動 理容美容の作業と筋疲労 筋系の保健
	7	神経系	神経系の成り立ち 中枢神経とその働き 末梢神経とその働き 神経系の保健
2学期	8	感覚器系	視覚 聴覚 平衡感覚 味覚 嗅覚 皮膚感覚 深部感覚と内臓感覚
	9	循環器系	血液循環の仕組み 血液の循環経路 心臓と血管の働き リンパ管系の仕組みと働き 循環器系の保健
	10	呼吸器系	呼吸器系のあらまし 気道 肺の仕組みとガス交換 呼吸運動 呼吸器系の保健
	11	消化器系	消化器系のあらまし 消化管の仕組み 消化管の働き 消化腺とその働き 消化と物質代謝 消化器系の保健
	12	泌尿器系	泌尿器系の仕組み 泌尿器系の働き 泌尿器系の保健
3学期	1	内分泌系	人体とホルモン 下垂体 甲状腺と上皮小体 膵臓 副腎 精巣と卵巣 内分泌系の調節機構 ストレス 内分泌系の保健
	2	環境と生体	生理的適応 免疫的適応
	3	まとめ	まとめ

# 授業計画表

教科名	理容保健	対象学科	理容科2年
テキスト	理容美容教育センター 理容美容保健		
教育目標 ねらい	理容師・美容師は頭や顔を中心とする人間の美と健康にたずさわる保健衛生分野の職業であり、解剖学や生理学に関する知識を備える		
評価方法	1. 定期試験 2. 授業の出欠状況 3. 授業受講の熱心さ		
予定時間数	60h		

授業計画			
学期	月	項目	内容
1学期	4	皮膚の構造	表面 断面 表皮 真皮 皮下組織 部位差
	5	皮膚付属器官の構造	毛 皮脂腺 汗腺 爪
	6	皮膚の循環系と神経系	皮膚の血管 皮膚のリンパ管 皮膚の神経
	7	皮膚と付属器官の生理機能	対外保護作用 体温調節作用 知覚作用と皮膚反射 分泌排泄作用
2学期	8	皮膚と付属器官の生理機能	呼吸作用 吸収作用 貯蔵作用 免疫・解毒・排除作用 ビタミンD形成作用
	9	皮膚と付属器官の生理機能	表情作用 再生作用 毛の働き 爪の働き
	10	皮膚と付属器官の保健	皮膚と全身 皮膚と精神 皮膚と栄養 皮膚と嗜好品 皮膚と体内病変 皮膚の水分と脂の状態
	11	皮膚と付属器官の保健	皮膚・付属器官とホルモン 皮膚、毛、爪の保護と手入れ リラックスによるスキンケア
	12	皮膚と付属器官の疾患	皮膚の異常とその種類 皮膚疾患の原因 皮膚疾患の治療法 皮膚炎と湿疹・蕁麻疹・薬疹
3学期	1	皮膚と付属器官の疾患	口唇の疾患 温熱・慣例による皮膚障害 角化、色素異常による皮膚疾患 血管腫 下肢静脈瘤
	2	皮膚と付属器官の疾患	分泌異常、化膿菌、ウイルス、真菌、動物による皮膚疾患
	3	皮膚と付属器官の疾患	感染症の皮膚疾患の予防 毛と爪の疾患 皮膚の腫瘍



# 授業計画表

教科名	美容保健	対象学科	美容科1年
テキスト	理容美容教育センター 理容美容保健		
教育目標 ねらい	理容師・美容師は頭や顔を中心とする人間の美と健康にたずさわる保健衛生分野の職業であり、解剖学や生理学に関する知識を備える		
評価方法	1. 定期試験 2. 授業の出欠状況 3. 授業受講の熱心さ		
予定時間数	60h		

授業計画			
学期	月	項目	内容
1学期	4	理容美容保健と理容師美容師細胞と体液	人体各部の名称 頭部、顔部、頸部の体表解剖学 細胞から系統 体液のあらまし 血液のあらまし
	5	骨格器系	骨の種類と構造 骨の連結 骨格器系とその働き 骨の保健
	6	筋系	筋の種類とその特徴 主な骨格筋とその働き 顔面筋と表情運動 理容美容の作業と筋疲労 筋系の保健
	7	神経系	神経系の成り立ち 中枢神経とその働き 末梢神経とその働き 神経系の保健
2学期	8	感覚器系	視覚 聴覚 平衡感覚 味覚 嗅覚 皮膚感覚 深部感覚と内臓感覚
	9	循環器系	血液循環の仕組み 血液の循環経路 心臓と血管の働き リンパ管系の仕組みと働き 循環器系の保健
	10	呼吸器系	呼吸器系のあらまし 気道 肺の仕組みとガス交換 呼吸運動 呼吸器系の保健
	11	消化器系	消化器系のあらまし 消化管の仕組み 消化管の働き 消化腺とその働き 消化と物質代謝 消化器系の保健
	12	泌尿器系	泌尿器系の仕組み 泌尿器系の働き 泌尿器系の保健
3学期	1	内分泌系	人体とホルモン 下垂体 甲状腺と上皮小体 膵臓 副腎 精巣と卵巣 内分泌系の調節機構 ストレス 内分泌系の保健
	2	環境と生体	生理的適応 免疫的適応
	3	まとめ	まとめ

# 授業計画表

教科名	美容保健	対象学科	美容科2年
テキスト	理容美容教育センター 理容美容保健		
教育目標 ねらい	理容師・美容師は頭や顔を中心とする人間の美と健康にたずさわる保健衛生分野の職業であり、解剖学や生理学に関する知識を備える		
評価方法	1. 定期試験 2. 授業の出欠状況 3. 授業受講の熱心さ		
予定時間数	60h		

授業計画			
学期	月	項目	内容
1学期	4	皮膚の構造	表面 断面 表皮 真皮 皮下組織 部位差
	5	皮膚付属器官の構造	毛 皮脂腺 汗腺 爪
	6	皮膚の循環系と神経系	皮膚の血管 皮膚のリンパ管 皮膚の神経
	7	皮膚と付属器官の生理機能	対外保護作用 体温調節作用 知覚作用と皮膚反射 分泌排泄作用
2学期	8	皮膚と付属器官の生理機能	呼吸作用 吸収作用 貯蔵作用 免疫・解毒・排除作用 ビタミンD形成作用
	9	皮膚と付属器官の生理機能	表情作用 再生作用 毛の働き 爪の働き
	10	皮膚と付属器官の保健	皮膚と全身 皮膚と精神 皮膚と栄養 皮膚と嗜好品 皮膚と体内病変 皮膚の水分と脂の状態
	11	皮膚と付属器官の保健	皮膚・付属器官とホルモン 皮膚、毛、爪の保護と手入れ リラックスによるスキンケア
	12	皮膚と付属器官の疾患	皮膚の異常とその種類 皮膚疾患の原因 皮膚疾患の治療法 皮膚炎と湿疹・蕁麻疹・薬疹
3学期	1	皮膚と付属器官の疾患	口唇の疾患 温熱・慣例による皮膚障害 角化、色素異常による皮膚疾患 血管腫 下肢静脈瘤
	2	皮膚と付属器官の疾患	分泌異常、化膿菌、ウイルス、真菌、動物による皮膚疾患
	3	皮膚と付属器官の疾患	感染症の皮膚疾患の予防 毛と爪の疾患 皮膚の腫瘍

# 授業計画表

教科名	理容文化論	対象学科	理容科1年
テキスト	理容美容教育センター 理容文化論		
教育目標 ねらい	人の歴史の最古から、理容・美容が関わってきたことを学び、現代の美の成り立ちやあり方を知り、技術を学び、施術するうえで理解を深め、新しいデザインの創造の糧とする		
評価方法	1. 定期試験 2. 授業の出欠状況 3. 授業受講の熱心さ		
予定時間数	30h		

授業計画			
学期	月	項目	内容
1学期	4	総論 日本の理容業の歴史	総論 理容業の発生
	5	日本の理容業の歴史	江戸時代の理容業 近代の理容業 現代の理容業
	6	ファッション文化史 日本編	縄文・弥生・古墳時代 古代
	7	ファッション文化史 日本編	中世 近世1
2学期	8	ファッション文化史 日本編	近世2
	9	ファッション文化史 日本編	近代
	10	ファッション文化史 日本編	現代1、2
	11	ファッション文化史 日本編	現代3、4
	12	ファッション文化史 日本編	現代5、6、7
3学期	1	礼装の種類	和装の礼装
	2	礼装の種類	洋装の礼装
	3	まとめ	まとめ

# 授業計画表

教科名	理容文化論	対象学科	理容科2年
テキスト	理容美容教育センター 理容文化論		
教育目標 ねらい	人の歴史の最古から、理容・美容が関わってきたことを学び、現代の美の成り立ちやあり方を知り、技術を学び、施術するうえで理解を深め、新しいデザインの創造の糧とする		
評価方法	1. 定期試験 2. 授業の出欠状況 3. 授業受講の熱心さ		
予定時間数	20h		

授業計画			
学期	月	項目	内容
1学期	4	ファッション文化史 西洋編	古代エジプト 古代ギリシャ・ローマ
	5	ファッション文化史 西洋編	古代ゲルマン 中世ヨーロッパ
	6	ファッション文化史 西洋編	近世16世紀 近世17世紀
	7	ファッション文化史 西洋編	近世17世紀 近世18世紀
2学期	8	ファッション文化史 西洋編	近代18世紀～19世紀
	9	ファッション文化史 西洋編	近代19世紀
	10	ファッション文化史 西洋編	現在1、2、3
	11	ファッション文化史 西洋編	現代4、5
	12	ファッションの造形原理	ファッションとは
3学期	1	ファッションの造形原理	理容・美容とデザイン
	2	ファッションの造形原理	色彩のコーディネート
	3	まとめ	まとめ

# 授業計画表

教科名	美容文化論	対象学科	美容科1年
テキスト	理容美容教育センター 美容文化論		
教育目標 ねらい	人の歴史の最古から、理容・美容が関わってきたことを学び、現代の美の成り立ちやあり方を知り、技術を学び、施術するうえで理解を深め、新しいデザインの創造の糧とする		
評価方法	1. 定期試験 2. 授業の出欠状況 3. 授業受講の熱心さ		
予定時間数	30h		

授業計画			
学期	月	項目	内容
1学期	4	総論 日本の美容業の歴史	総論 美容業の発生
	5	日本の美容業の歴史	江戸時代の美容業 近代の理容業 現代の理容業
	6	ファッション文化史 日本編	縄文・弥生・古墳時代 古代
	7	ファッション文化史 日本編	中世 近世1
2学期	8	ファッション文化史 日本編	近世2
	9	ファッション文化史 日本編	近代
	10	ファッション文化史 日本編	現代1、2
	11	ファッション文化史 日本編	現代3、4
	12	ファッション文化史 日本編	現代5、6、7
3学期	1	礼装の種類	和装の礼装
	2	礼装の種類	洋装の礼装
	3	まとめ	まとめ

# 授業計画表

教科名	美容文化論	対象学科	美容科2年
テキスト	理容美容教育センター 美容文化論		
教育目標 ねらい	人の歴史の最古から、理容・美容が関わってきたことを学び、現代の美の成り立ちやあり方を知り、技術を学び、施術するうえで理解を深め、新しいデザインの創造の糧とする		
評価方法	1. 定期試験 2. 授業の出欠状況 3. 授業受講の熱心さ		
予定時間数	20h		

授業計画			
学期	月	項目	内容
1学期	4	ファッション文化史 西洋編	古代エジプト 古代ギリシャ・ローマ
	5	ファッション文化史 西洋編	古代ゲルマン 中世ヨーロッパ
	6	ファッション文化史 西洋編	近世16世紀 近世17世紀
	7	ファッション文化史 西洋編	近世17世紀 近世18世紀
2学期	8	ファッション文化史 西洋編	近代18世紀～19世紀
	9	ファッション文化史 西洋編	近代19世紀
	10	ファッション文化史 西洋編	現在1、2、3
	11	ファッション文化史 西洋編	現代4、5
	12	ファッションの造形原理	ファッションとは
3学期	1	ファッションの造形原理	トータルファッションの造形原理
	2	ファッションの造形原理	色彩のコーディネート
	3	まとめ	まとめ